

長谷山だより

令和2年2月7日発行
碓井中学校通信2月号
文責 校長 藤井 隆昭

学年のまとめをしっかりと！

3年生は、私立高校の入学試験、公立学校の推薦入試が終了し、前半の入試が終了しました。進路が決まってきた生徒もいますが、まだまだ受験は続いています。3月の公立学校の入学検査に向けて、追い込みをかける時期となりました。体調管理そして家庭学習をしっかりと行い、一丸となって希望の進路獲得に向けて頑張りましょう。

水曜日（12日）から本年度最後の期末考査があります。1年間の学習の定着度をしっかりと確認し、考査後の2ヶ月間でしっかりと復習し、3年生を含めて新年度に備えてほしいと思っています。

さて、先週は、今冬一番の寒波が訪れ、関東地方を中心として大雪となった地方もあったようです。今年の九州は暖冬の長期予報が出され、雪による影響はあまりないようですが、急な天候変化もあり、備えは日頃から大事に思います。暦の上では立春を過ぎ、春の足音も、日ごとに大きくなってきているようです。三寒四温というように温度変化が激しいので、体調管理にはより気を配ってほしいものです。

例年であればインフルエンザが猛威を振っている時期ですが、嘉麻市内で、インフルエンザによる学級閉鎖等の措置をとっている学校は今のところありません。今後も十分な睡眠、うがい・手洗いを励行してください。

2・3月の主な行事予定

日・曜	行 事	日・曜	行 事
2月11日（火）	建国記念の日	2月24日（月）	振替休日
12日（水）	期末考査	3月9日（月）	3年給食最終日
13日（木）	期末考査	10日（火）	公立高校一般入試第1日
14日（金）	期末考査・部活動再開	11日（水）	公立高校一般入試第2日
17日（月）	フォローアップタイム1	12日（木）	第73回卒業式
18日（火）	フォローアップタイム2	17日（火）	学校関係者評価委員会
19日（水）	2年修学旅行 フォローアップタイム3	18日（水）	公立高校合格発表
		19日（木）	碓井小学校卒業式
20日（木）	2年修学旅行 フォローアップタイム4	20日（金）	春分の日
		23日（月）	1. 2年給食最終日
21日（金）	2年修学旅行 フォローアップタイム5	24日（火）	令和元年度修了式
		4月6日（月）	令和2年度・1学期始業式
23日（日）	天皇誕生日	8日（水）	第74回入学式



年賀状コンクールのとくみから

今年も3年生を中心に、一つひとつの活動を丁寧にやってきたことで、この一年間で、更に学校全体がレベルアップしてきたようです。昼休みの体育館では、バスケットボールやバドミントン等、武道場では卓球、グラウンドではキャッチボールをと、各々が思い思いのスポーツを友だちと楽しんでいます。素晴らしいことに、チャイムと同時にきちんと片付け、5校時の学習をしっかりと受けています。一方、校内では、図書室で読書をしたり、教室でおしゃべりをしたりしているようです。また、考査試験前になると、運動するのを我慢して、教室で試験勉強をしている生徒もいるようです。

さて、国語科の〇〇先生・〇〇先生の提案で今年から「年賀状コンクール」という新たな取組を始めました。目的は次の二点で取り組みました。

- (1) 年賀状作成を通して伝統的言語文化に親しむ。
- (2) コンクールを通して、他の生徒の良さに気づき、それを認め合える心情を養うとともに、自立共生の学校文化に寄与する。

年賀状を碓井郵便局より寄贈いただき、12月の国語科の授業の中で、書き方を指導しました。宛名を碓井中学校の先生方より一名選び、お祝いの言葉、お世話になったお礼、今年目標等の内容で、毛筆（筆ペン）を使用しての取組でした。そして、1月10日（金）より1週間、職員室前の廊下に掲示し、友だちの頑張りを評価する活動としました。活字離れが進む最近の状況の中、生徒たちは意欲的に取り組んだようで、目的にあるように「伝統的言語活動」に親しむ機会となったようです。

年賀状のはじまりについて調べてみると、次のような記述がありましたので紹介します。

すでに平安時代に公家のあいだでやりとりされていたという。江戸時代に入ると、年賀状の風習が武家にも広がり、書状による年始の挨拶が一般になっていった。そして、この書状の年始の挨拶が庶民にも伝わり、簡略化されていったのだ。

現在のような年賀はがきが売られるようになったのは1899年のこと。お年玉つき年賀はがきは1949年に始まり、第1回の特賞は（ ）だった。※さて何でしょう？

～地域活動への参加について～

毎日交通指導をしてくださっている方、学校の草刈りをしてくださっている方、グロスティチャーとしてお話をしてくださった方等、校区内の地域の方々の温かい優しさに育まれた人権意識を基盤に、落ち着いた学校生活を送り、学力も確実についてきています。しかし、中体連の大会等、ここ一番の時に、「自信のなさ」が今の碓井中学校の課題だと思います。

そこで、自信を持たせるために、地域の方の力を借りたいと思い、来年度も校区内の地域の活動に、生徒をボランティアで派遣しようと思っています。ここ数年も取り組みましたが、生徒会役員が、織田廣喜美術館で展示発表会のお手伝いをしてくれた行動等です。

先日、「長谷山を愛する会」の代表をされてある、〇〇さんという方に会ってきました。今の碓井中学校の様子も伝えてきました。「何かできることがあったら」と、こころよい返事もいただいていたところ。生徒会を中心として、できることから始めてみたいものです。

